

# 石山

新宿区立 戸山小学校

## 自宅で過ごした夏休み

副校長 矢島 直子

まだまだ残暑が厳しい中ですが2学期がスタートしました。2学期も子ども達の健康や安全、安心を最優先に、教育課程を進めて参ります。

さて、みなさんはどのような夏休みを過ごしましたか。緊急事態宣言下ということもあり、自宅での時間を過ごした方も多かったのではないのでしょうか。

私はオリンピックTV観戦をしました。観戦する側は、目の前の試合に一喜一憂するだけなのですが、選手のみなさんにとっては、成績や結果だけでなく、この日に至るまでの過程が大切なのだと気付きました。

病や負傷と闘いながらこの日を迎えた人もいます。水泳の池江璃花子選手がまさにそうですね。病で一度はあきらめた東京オリンピックでしたが、必死の努力でメドレーリレーのメンバーとして出場しました。バドミントン女子ダブルスの廣田彩花選手は膝に装具をつけていました。ひと目で手術をしたばかりの膝だとわかりました。メダルには手が届かなかったものの、痛さを感じさせないパワープレーに感動を覚えると共に、すごい精神力だと感じ、見ている私も涙が溢れそうになりました。それだけではありません。サッカーの久保建英選手が試合終了後に流した涙の向こうには「プレッシャー」という目に見えない精神的ストレスがあったのだと思います。おそらく全選手がプレッシャーと闘いながらオリンピックを迎えたのではないのでしょうか。そんな選手のみなさんに声をかけることができるとすれば、私には「ありがとう」という言葉しか思いつきません。この大きな感動を与えてくれた選手のみなさんに感謝し、今後の自分自身のパワーに変えるとともに、子ども達へ夢をもって努力することの大切さを伝えていきたいと思えます。

私はアウトドア人間なので、外出自粛の毎日は本当につらいです。でも、健康や命が最優先される今、自分だけでなく愛する人たちのためにも外出自粛を守らなければならないと思っています。

## ワクワクスクール

7月26日から4日間行われたワクワクスクールには、のべ400名以上の児童が参加しました。海城、戸山、保善高校とオンラインでつないだ開会式には、保善高校のキャラクター「保善井くん」も参加していました。

今年は高校生と直接の交流ができないので、折り紙のワークショップでは、見本を作る手元を映す投影用タブレットと、小学生の進み具合を高校生に見せるカメラ用タブレットを使い分けるなど、オンラインならではの工夫や苦労がありました。

〈児童の感想〉

- えかきうたのいぬや、ペンギン、とてもかわいいです。おかあさんや、おとうさんに、おしえておきます!! (まほうのえかきうた)
- こうこうは、しょう学校とぜんぜんちがって、お金も、つかっていいなんて、びっくりしました。早く、こうこうせいになりたいです。(高校生の1日)
- とても学校がきれいだったので、行ってみたいと思いました。とてもへん集が上手でした。次はじっさいにやりたいです。(リアル脱出ゲーム)
- 「メイクユーハッピー」おうちでもおどってみます。お母さんに見せたら何て言うか楽しみです。(ダンススクール)



1学期末に行ったユニセフ募金活動では・・・

### ¥34,818

集まりました。日本ユニセフ協会に確実に届けました。温かいご協力ありがとうございました。